**【プラセンタ（メルスモン®）治療説明書・同意書】**

メルスモン®は、昭和31年（1956年）に承認された医療用医薬品です。

国内の、安全なヒト胎盤を原料とした注射薬で、多種のアミノ酸を含有しております。

発売以来、重大な副作用はなく、安全性の高い薬剤といえます。

**【次のような病気や症状の改善に使われます】**

更年期障害による諸症状の改善（のぼせ・冷え・不眠・イライラ感・頭痛・疲労・肩こり・腰痛など）。また、産後乳汁分泌が少ない方の治療に使われております。保険外の疾患治療や美容、健康維持目的などで「自由診療」として使用されております。

**【投与方法について】**

メルスモン®を１バイアル（自由診療の場合１～２バイアル）、上腕伸側に皮下注射します。週１回をベースに、症状などに合わせて適宜増減します。

**【次のような副作用がでることがあります】**

注射部位の疼痛、発赤、出血斑などや悪寒、発熱、発疹などがおこることがあります。

その場合は医師にお申し出ください。

**【ウィルスや細菌などに対する安全性】**

胎盤ひとつずつについて核酸増幅検査（NAT）を実施し、HBV/HCV/HIV/HTLV-Ⅰ/パルボB19ウィルス陰性であることが確認された安全な胎盤を原料としています。

さらに、製造の最終段階に121℃30分間の高圧蒸気滅菌を実施しおり、ウィルス、細菌の感染防止策をとっております。

これまで本剤によると思われるウィルス感染の発生報告はありません。

**【変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）などに対する安全性】**

メルスモン®はvCJDの感染を防ぐため、胎盤を提供してくださる方に対してBSEが流行した英仏などへ海外渡航歴について問診を実施しております。問診の結果問題のある胎盤は原料として使用しておりません。

さらに、製造工程におきまして、塩酸による高熱の加水分解を実施しています。これによりホルモンおよび蛋白質は分解されています。

これまで、本剤によると思われるvCJDの感染報告はありません。しかしながら、理論的なvCJDなどの伝播の可能性は、完全には否定できません。

**このため、メルスモン®を含むヒト胎盤由来医薬品の使用は、以後献血を控えることが求められています。**

プラセンタ（メルスモン®）治療の上記説明事項を十分にご確認のうえ、ご署名をお願いします。

私は、上記説明を理解し上記の内容について確認しましたのでプラセンタ（メルスモン®）治療を受けることに同意いたします。

　　　　　　年　　　　　月　　　　　日

ご住所

お名前（自筆サイン）

永田皮膚科医院　院長：永田貴久　Tel：0968-74-1566